

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		その他小売 [ショッピング センター]（統 括）	来客数の動き	・今春に終えた大規模リニューアルが、全館の集客増につながっている。県内、全国、エリア初出店等のテナントを集積できた効果が非常に高く、3月以降の来客数が120%を超える水準で進捗している。
		百貨店（役員）	販売量の動き	・物産催事や食料品などの動きが良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数は前年比99%と横ばいである。客単価は106%と微増、売上も104%の微増である。例年ゴールデンウィークは3割ほど落ち込むが、今年は観光客などフリー客の来店があり、大きく落ち込まなかったことが、売上増の要因と思われる。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・消費税再増税の影響が前年より夏物商材の動きが早く、販売が増えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・令和のお祝いムードや10連休にネモフィラの開花が重なり、来客数は伸びていたが、20日過ぎから徐々に減少しており、とても良いとまではいえない。
		通信会社（局長）	お客様の様子	・新年度になり、テレビ、インターネット、電話の加入者も増えてきており、当社の景気は上向きである。しかし、業種によっては景気が良いとはいえない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・10連休により、入園者及び物販や飲食の売上が大幅に伸びている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・10連休の来場者は前年と変わりがない。ただし、天候に恵まれてキャンセルが少なかったため、前年来場者数3,900名に対して、4,147名と247名プラスの見込みで、上向きである。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・前月と同様、忙しい業者が多いようである。今年も猛暑が予想されるため、エアコン業界は好景気が予想される。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・春行事の修学旅行や遠足時の写真需要が、前年より激減している。少子化の影響が出てきている。また、商店街では、電子決済カードの新規登録者に特典を付けるキャンペーンをしているが、関心は薄い。
		一般小売店[精肉]（経営者）	お客様の様子	・大型連休が終わった。体も疲れたが、懐も疲れたのだろう。連日のチラシを見ても、客の動きは余りない。ここ数日の異常な天候の影響もあるのではないかと。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・客単価は4%ほど上昇しているが、来客数は5%ほど減少しており、全体では微減となっている。
		スーパー（商品部担当）	単価の動き	・前月同様、客単価が3%落ち込んでいる。価格訴求時の数値は変わらないものの、平日の数値が特に悪い。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・とにかく来客数が激減している。天候不順や選挙も多い。そうした要因はあるが、明るい兆しは全くない。数か月前からずっとだが、徐々に重い空気になってきている。何か打開策をと思っても、思い浮かばないのが現状である。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・新車販売台数、車検売上などに大きな振幅はなく推移している。本来ならば5～10%の伸びがないと、企業は成長できないのかもしれない。
	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当店は観光地が控えており、今月は9～10連休のところもあったと思うが、ものすごい数の観光客がやってきて、当店の顧客の物産店や食堂関係は、にこにこ顔で潤っていたようである。今月はどこの店もかなりの売上があったのではないかと。全体的に2～3か月前と比べて多少は良くなっているが、スポット的な物ではないかと思う。これから観光シーズンになるので、多少は上向いていく。	
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・今まで販売量が余り振るわなかった分、多少売上が伸びている。	
	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・月初は改元ムードと連休で、客足は順調に伸びたものの、連休明けからは滞って、前半のプラスと後半のマイナスで相殺されてしまっている。	

その他専門店 [靴小売業] (経営者)	お客様の様子	・10連休の影響があるようである。ふだんの生活が送れず、再び物を買うところにまでは至っていない。また、高温も影響している。消費が回復する要因が少なく、良い材料がない。客の動向がつかみにくくなっている。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・宴会の回数は若干増加しているが、一般、フリー客が少なくなっている。
その他飲食[給食・レストラン] (総務)	お客様の様子	・今年度も事業所給食の新規契約先を獲得することができた一方、既存の取引先で、人件費や食材費などの経費増を踏まえた取引条件の見直しについて、理解はしてもらえても改定には時間が掛かるケースが多い。
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・4月下旬から5月初旬にかけてのゴールデンウィークに集約され、その他の期間は、例年並みかそれ以下となっている。
都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・県内に3つのホテルを運営しているが、5月の稼働は、60~70%の間で、70%を超えるところもあるという状況で、全体としては芳しくない。過去の事例を見ると、5月はこうした傾向をたどるので、2~3か月前と比べると、大きく変わりが無い。
都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中は宿泊、料飲共に、売上が好調に推移している。その後は宿泊については変わらず好調なもの、料飲は落ち込んでいる。全体的に判断すると、やや良いといったところに落ち着く。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・夜の動きが悪く、前年同月と比べて8%減である。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・一般企業や事業所からの受注はほぼ皆無である。行政や団体の発注さえ、経費削減で買いたたかれている。さらに、印刷原価は紙の価格高騰で10~20%増であり、非常に厳しい。
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・不動産関連物件数が、前年と変わらない。
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほぼ変化がみられない。
設計事務所(所長)	来客数の動き	・個人客の問合せが来っていない。
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・不動産投資の安い物件には、引き合いがある。アパートの1棟売りなどには問合せがあるものの、土地についての問合せはなかなかない。また、事務所の引き合いもほとんどない。強いていえば、貸店舗の飲食店関係はちらほらあるかというところである。
一般小売店[青果] (店長)	お客様の様子	・今月は長期連休もあり、お金を使ったり、働く日数が少なく残業手当も付かず、日給月給のところでは、給料もかなり減っている。当店が納品している飲食店、ホテル等のどこもが暇だとつぶやいている。
百貨店(営業担当)	販売量の動き	・大型連休は予想以上に厳しい結果となった。食品物産展は集客、売上共に堅調なもの、依然として婦人、紳士アパレルの不調が、売上不振の主要因となっている。
百貨店(営業担当)	販売量の動き	・10連休は多くの来客を期待していたが、前年を下回っている。売上も同様に下回った状態で、浮上の兆しが見えない。特に、来客数に比例する食品売上が良くない。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・連休中は、そこそこの客入りだったが、その前後の落ち込みが大きく、決して景気が良いとは感じられない。客単価も前年とほぼ同じである。
スナック(経営者)	来客数の動き	・平日の集客人数が減っている。
都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・景気が持ち直しているという実感はない。
都市型ホテル (営業)	来客数の動き	・10連休があり、出費がかさんで仕事日数も少なく、個人消費が落ち込んできているので、厳しい月だとみている。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・夏期商材の予約問合せ数が、前年より悪い。
旅行代理店(所長)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク10連休の反動が、宿泊の伸びが鈍化している。外国人観光客の来訪は堅調なもの、ほとんどが東京からの日帰りで宿泊につながらない。同時に、地元での消費も鈍い。

	タクシー（役員）	来客数の動き	・慢性的な人手不足である。	
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・2月以降、毎月マイナスが続いている。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・米中貿易摩擦は我が国の経済動向に甚大な影響をもたらす。中国製スマートフォン部品は、地方の中小製造業まで及んでおり、影響は計り知れないものがある。	
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・大型店の集客攻勢激化のあおりを受け、整備全体で目標の2割減が続いている。車体整備は、事故率低下と損害保険会社の事故割増契約が影響し、3割減のままである。経営は確実に悪くなっている。	
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・今年に入って以来、販売量が急激に減少している。4月以降の回復を期待していたが、5月の連休で更に悪化している。	
	×	タクシー運転手	それ以外	・観光地でもない地方の田舎町では、毎年5月の連休は利用客が減少する。特に、今年は10連休もあったので、その後も2～3日は駄目だった。また、夜の街中もひっそりとしている。会社全体の売上も30%以上落ちている。
企業 動向 関連 (北関東)	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現状、売上が安定している。増加傾向にあるものの、これからのことは、よく分からない。	
	その他製造業 〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社主力3部門の3番目である太陽光発電事業は、3～5月の売電が過去最高となっている。他の2部門合計も3年間伸びているにもかかわらず、増設も続いている太陽光発電の売上と粗利が、その合計を上回っている。	
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・予想以上に受注量が伸び、非常に忙しく稼働している部門があり、期待している。この状況を何とか維持したい。	
	金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・前年同期よりも、今月の売上は良い。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の北米販売が89か月連続で前年を超えている。また、国内販売は18か月ぶりの前年超えとなっている。	
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・おおむね横ばい状況で、変わらない。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・10連休による稼働日数減少の影響を懸念していたが、前倒し生産等により、今月は前年並みの売上を確保できている。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先が13社くらいあるので、現状、良しあしや受注量の多少等はいろいろで、余り変わらない。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・ゴールデンウィーク半ばまでは天候も良く、パーペキュー用品等レジャー用品の輸送量も前年並みの物量だった。その後は天候不順で降雨もあり、物的には落ち込んだが、月末にかけ猛暑も続き、エアコン、扇風機等の夏物商材の輸送量も多くなり、結果的に前年並みの物量確保ができています。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・当地は、大手企業の下請けというか、孫請けぐらいの企業が多く、米中の貿易摩擦問題を心配している。現実にはまだ、何も変わったところはない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月に入ってから、医療器関係の注文が激減し、前年より悪くなる感じである。なぜだか分からないが、相当落ちている。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年に比べても、連休明けからの動きが、すこぶる悪い。	
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・月初の連休が長く、定期保守作業が延期や中止となっている。連休中や連休後の緊急対応もなかったため、売上が減少している。事務所テナントの退去もあり、定期保守業務も減少している。	
広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・消費税再増税に対するマイナスのマインドが厳しい。		
	社会保険労務士	取引先の様子	・輸出関連の中小企業売上が減少しており、しばらくはこの状況が続くそうである。	

		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化はみられない。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・新年度に入り、取引先の生産量が芳しくない。来月の生産動向発表を期待している。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移してきたが、今年度は前年比36%減、前々年比で33%減と、大変厳しいスタートとなっている。発注時期の問題であってほしいが、大変心配である。ただし、当社決算上は、前年度受注なので、今のところは心配していない。今後の動向を注視していきたい。
雇用 関連 (北関東)		-	-	-
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月は一般住宅の増改築工事等が目立っている。求人にもあったが、製造部門や建設関連の職員募集も目立っている。一般消費者の青果、肉等への支出は、堅調な動きに見受けられる。異常な暑さもあり、夏物衣料などに若干動きがあったようである。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・受注している雇用形態のうち、派遣は例年並みに落ち着いている。有料の人材紹介は、前年同期に比べ増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・直近3か月及び前年同期を見ても、ほぼ変わらない。有効求人倍率も同様である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年並みであったが、求人件数は前年より減少している。また、一時期よりも新規で求人を出したいという企業が少なくなってきた。
		人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・こここのところ、忙しい会社がなくなり、活気がない。
		人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・自動車関連部品の生産が減少している影響で、派遣依頼も減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・政府の景気悪化判断を受け、製造業企業を中心に求人採用数を減らす、採用を控えるという動きが広がっている。
		×	*	*